

表 3.4 主要魚介類の選定結果

①瀬戸内海における主な魚介類	②周年定住種	③漁獲量上位種	④保護水面対象種	⑤産卵場・生育場が藻場・干潟等特定域に該当する種	⑥選定結果	選定理由
魚類			保護水面あり(対象種:ハマグリ)			
イカナゴ	○					
コノシロ	○	○				
マコガレイ	○	○		○ ○	○ ○	生育場が干潟に依存する。
イシガレイ	○	○		○ ○	○ ○	生育場が干潟に依存する。
メイタガレイ	○	○				
ヒラメ	○			○		
タマガニソウビラメ						
イヌノシタ						
クロダイ	○					
マダイ	○			○ ○	○ ○	生育場が砂浜性藻場に依存する。
ヘダイ				○		
イボダイ	○					
スズキ	○ ○			○ ○	○ ○	生育場が砂浜性藻場に依存する。
アカカマス						
イサキ						
シイラ						
ニベ	○					
シログチ	○					
ベラ	○					
カサゴ	○			○		
メバル	○			○		
アイナメ	○					
トカゲエソ	○ ○					
マエソ		○				
サワラ	○					
マナガツオ						
カタクチイワシ(シラス)		○				
タチウオ						
マサバ						
マアジ		○				
マルアジ						
ブリ						
マイワシ						
ハモ		○				
マアナゴ		○				
ウナギ		○				
ボラ		○				
カワハギ						
トラフグ	○					
シロザメ						
アカエイ						
イカ・タコ類	マダコ	○ ○				
	イイダコ	○ ○				
	テナガダコ	○ ○				
	コウイカ	○ ○				
	スルメイカ					
エビ・カニ類	ガザミ	○ ○		○ ○	○ ○	産卵場・生育場が干潟に依存する。
	シャコ					
	クリマエビ	○ ○		○ ○	○ ○	産卵場・生育場が干潟に依存する。
	アカエビ					
	キシエビ					
	ヨシエビ					
貝類	アサリ	○ ○		○ ○	○ ○	産卵場・生育場が干潟に依存する。
	アカガイ					
	サルボウ			○		
	タイラギ					
	トリガイ					
	バカガイ			○		
	ハマグリ	○ ○		○ ○	○ ○	産卵場・生育場が干潟に依存する。
	マテガイ					
	サザエ			○		
棘皮類	マナマコ	○ ○				

①主な魚介類：以下の文献により抽出した。

「瀬戸内海の生物資源と環境」(岡市ら, 1996)」

「瀬戸内海のさかな」(瀬戸内海水産開発協議会編, 1997)」

「日本全国沿岸海洋誌」(日本全国沿岸海洋研究部会編, 1985)」

②周年定住種：以下の文献を参考に判断した。

沿岸至近域における海洋生物の生態知見(魚類・イカタコ類編) ((財) 海洋生物研究所, 1991)

沿岸至近域における海洋生物の生態知見(貝類・甲殻類・ウニ類編) ((財) 海洋生物研究所, 1991)

新版魚類学(下)改訂版 (落合明・田中克, 1998)

水産生物の生活史と生態((社) 日本水産資源保護協会, 1985)

水産生物の生活史と生態(続) ((社) 日本水産資源保護協会, 1986)

水生生物生態資料((社) 日本水産資源保護協会, 1981)

水生生物生態資料(続) ((社) 日本水産資源保護協会, 1983)

③漁獲量上位種：②の魚種のうち、「瀬戸内海区及び太平洋南区における漁業動向(平成7年～16年)」(中国四国農政局統計部)の漁獲量が50位以内の種。

④保護水面対象種：水産資源保護法に基づく保護水面として指定された水域がある場合、その対象魚種。

⑤産卵場・生育場が藻場・干潟・サンゴ礁の特定域に該当する種

魚介類の生態特性により、産卵場あるいは生育場のいずれかにおいて、砂浜性藻場、岩礁性藻場、干潟、サンゴ礁のいずれかを利用するものに○を付した。岩礁性藻場、岩礁域のいずれも利用するものは特定の場に依存するとはしていない。

⑥選定結果：②～⑤全ての項目に該当する魚介類。

表3.5(1) 主要魚介類(8種)の生態特性

主要魚介類	卵形態	水深	産卵場	主な分布状態				幼稚仔魚の分布域(底質環境)				その他
				卵	仔魚期	稚魚期	泥	干潟	砂・泥	アマモ場	岩礁	
スズキ	分離浮性卵	表層		平遊生活 (台礁)								
		表層下-10m		底生生活 (仔魚期) 仔魚は底面に付着する 稚魚は底面付近に移動する								
		11-20m										
		21-30m										
		31-40m										
マコガレイ	付着沈性卵	表層		海底堆積物 泥底								
		表層下-10m		浮遊生活(底面附近まで) (水深10m附近)								
		11-20m		沿岸域(水深0-50m) の泥底、砂礫、岩礁								
		21-30m										
		31-40m										
イシガレイ	分離浮性卵	表層		浮遊生活 (台礁)								
		表層下-10m		内湾(水深10m附近) の泥底								
		11-20m										
		21-30m										
		31-40m										
マダイ	分離浮性卵	表層		浮遊生活 (台礁)								
		表層下-10m										
		11-20m										
		21-30m		当潮域(水深20-100m)								
		31-40m										
		41-50m										
		51m~										

出典:沿岸至近海に於ける海洋生物の生態観察(魚類・イカ類・鰐類) ((財) 海洋生物研究所, 1991)

新版魚類学(下)改訂版 (著者明田中克, 1996)

水産生物の生活史生態 (社) 日本水産資源保護会, 1985

主要対象生物の発育段階の生態的知見の収集整理 (平成8年度水産基盤整備調査委託事業報告書・水産庁2006)

表 3.5(2) 主要魚介類（8種）の生態特性

主要魚介類	卵形態	水深	産卵場	主な分布状態				幼稚仔魚の分布域(底質環境)								
				卵	仔魚期	稚魚期	泥	干潟	砂・泥	アマモ場	砂・礁	カジメ場	ガラモ場	コンゴ場	その他藻場	
クルマエビ	浮性卵	表層													その他	
		表層下-10m														
		11-20m	水深10m以深の水苔場													
		21-30m														
		31-40m														
ガザミ	浮性卵	表層													その他	
		表層下-10m	砂泥場 (10m以浅)													
		11-20m														
		21-30m														
		31-40m														
アサリ	分離浮性卵	表層													その他	
		表層下-10m	内湾・内瀬の潮間帯 -10mまでの砂泥場													
		11-20m														
		21-30m														
		31-40m														
ハマグリ	沈性卵	表層													その他	
		表層下-10m	砂泥場													
		11-20m														
		21-30m														
		31-40m														
		41-50m														
		51m~														

出典：沿岸至近海における海洋生物の生態制約（魚類－イカ類編）（財）海洋生物研究所、1991）

新版魚類学(下)改訂版 (発行：日本水産出版協会、1998)

主要対象生物の生活史と生態の生態的知見の収集整理（平成16年度水産基盤整備調査委託事業報告書：水産庁、2006）

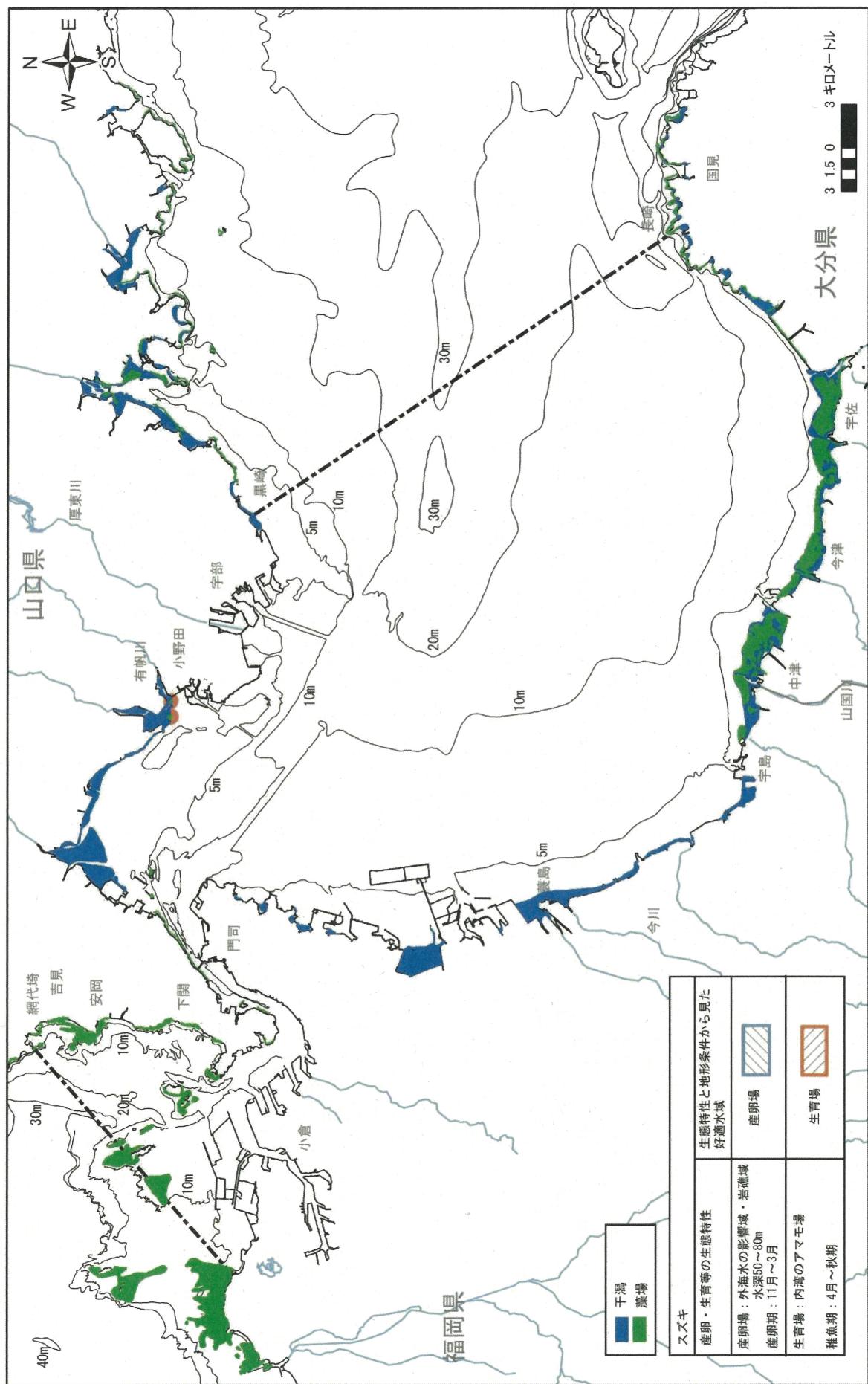


図 3.9(1) スズキの生態特性・海域の地理条件・水質条件から見た好適な水域（産卵場・生育場）

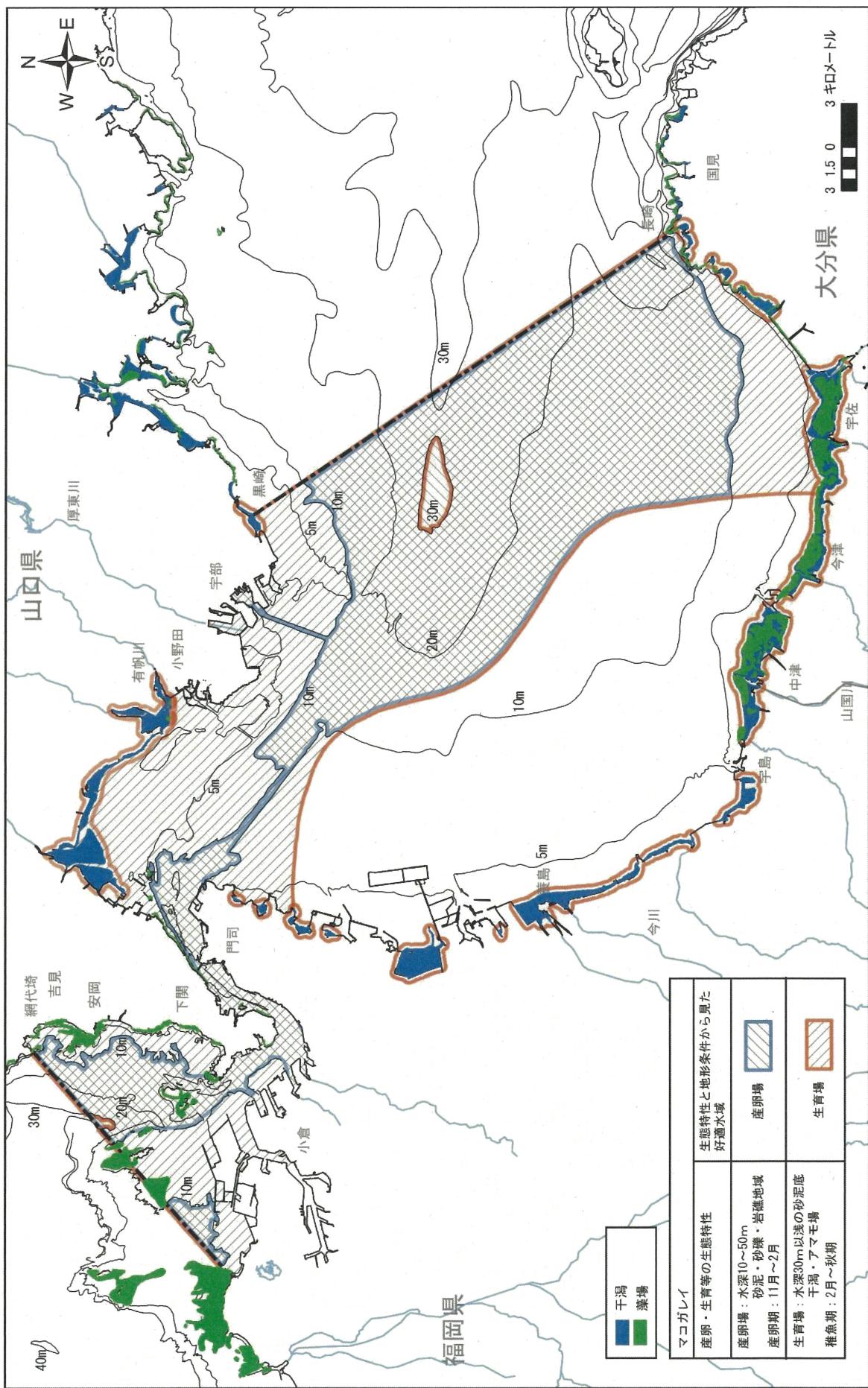


図 3.9(2) マコガレイの生態特性・海域の地理条件及び水質条件から見た好適な水域（産卵場・生育場）